



開催日	令和6年9月28日(土)	行政区	山王	参加人数	13名
時間	午後1時30分～2時35分	関係機関	五霞土地改良区、茨城むつみ農協五霞支店、農地中間管理機構		
当日出た意見	・後継者がいない状況。さらに、米作は赤字であるため、農家一本では機械が更新できない。 ・山王地区は、当時の中間管理事業のモデル地区になったエリアだが、実際は担い手に集積しても草が繁茂したりと、担い手もまかないきれしていない状況ではないか。 ・山王地区はパイプラインの末端になるため、圃場を大きくしても水が出ないのでは作業ができない。 ・豪雨時に、堤防からの大量の雨水が圃場へ流入する。その結果、沼地になってしまうエリアがある。 ・農地を貸す人が増えた結果、地先管理ができなくなり、草の繁茂が目立つ。対応を検討しなければ。 ・農業が体力的にきつくなってきたので、離農をしようと思っている。 ・規模の小さい農地については、受けてもらえないのではないか。 ・草の問題等も検討しながら、農地の集積／集約に向けて、担い手に農地を集めていく。				
当日の様子	  				